

# 本吉響高校に自生する2種のタンポポの分布とその環境

本吉響高等学校 科学部

## 研究の背景と目的

本吉響高校の校地内には、外来種であるセイヨウタンポポと、在来種であるエゾタンポポの2種のタンポポが自生している。全国的にセイヨウタンポポの生息域が拡大しており、在来種の数も減少している。また、在来種と外来種が交配し、雑種も生まれているという報告もある。

- セイヨウタンポポとエゾタンポポの**分布とその環境**を調査する。
- 本校に**雑種が存在するか**どうか調べる。

生物多様性の観点から**在来種の数**が減少しないような環境づくりを目指す。

## 調査方法

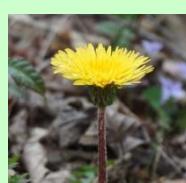
- 調査地…5か所(A~E)設定
- 調査日…4月17日~4月23日
- 対象とするタンポポ…調査エリア内の**花が咲いている**全てのタンポポ
- 調査したものがわかるようにラベリング(右図)
- 「セイヨウタンポポ」「エゾタンポポ」「雑種と思われるタンポポ」の3種類に分類する。雑種のタンポポは、文献の写真をもとに照合



## 本吉響高校に自生する2種のタンポポ

セイヨウタンポポ  
(外来種)

エゾタンポポ  
(在来種)



外総苞片が下に垂れて**反り返る**。

花茎は薄い緑色を帯びることが多い。

外総苞片は**反り返らない**。

花茎は赤色を帯びることが多い。

## 調査結果 (雑種について)

雑種と思われる個体

…外総苞片の反り返りが中途半端(**開出している**)



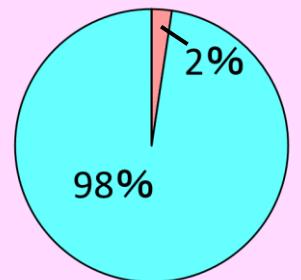
## まとめ

- 全体的にはセイヨウタンポポの数が多い。
- 雑種と思われる個体が多く発見された場所もあった。
- 定期的に草刈りは行われるが、人があまり通らない場所に在来種が多い。
- 在来種の多い場所は、除草剤をまいたり舗装してしまったりせず、適度な管理のもとで保護していかねばならないと考える。

## 調査結果(タンポポの割合と環境)

### 調査地A

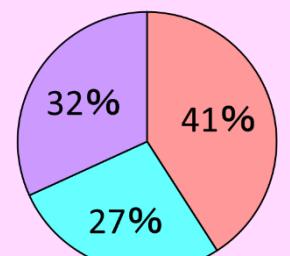
- 日当たりの良い平地。たまに職員の駐車場になる。
- 草刈りは頻繁。除草剤の散布あり。



調査数84

### 調査地B

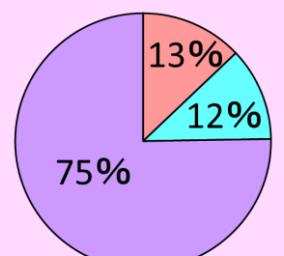
- 丘へと続く、人がほとんど通らない坂道。
- 草刈りは低頻度。



調査数22

### 調査地C

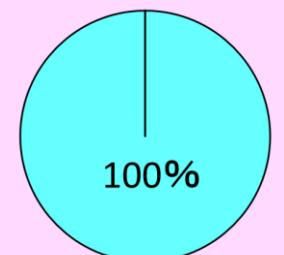
- 登校坂の、人が通らない側。
- 草刈りが定期的に行われる。



調査数93

### 調査地D

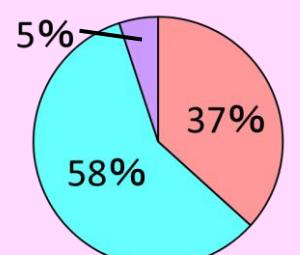
- 登校坂の脇にある砂利道。軽トラックが通る。
- 草刈りが定期的に行われる。



調査数10

### 調査地E

- プール脇の傾斜。
- 草刈りは定期的。



調査数79